

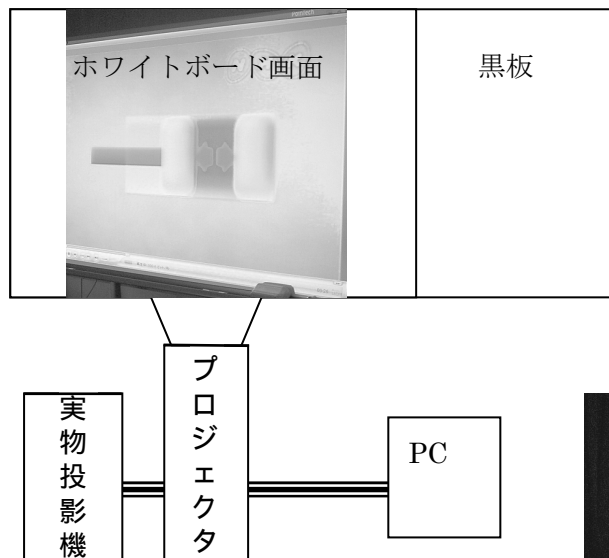
題材名「空気てっぼう」

■ 目 標

- 。 空気を袋や容器に閉じ込めたり、空気てっぼうを作って遊んだりする活動を通して、閉じ込めた空気押し返す力によって起こる現象について、興味を持って調べることができるようにする。
- 。 水と空気とを比較して調べ、空気と水の性質のちがいをとらえることができるようにする。

■ コンピュータを活用する利点

理科の学習において、ビデオクリップを使った説明は児童の視覚に訴えることができ、理解を深める上で有効である。しかし、長時間のビデオ視聴ではなく、短いクリップを説明の合間に挟みなおかつ児童の発表も同様に行うことにより学習効果を高めたり、準備等の時間を節約したりすることでスピーディに授業を進め、児童の意欲を持続させられるのではないかと考えた。

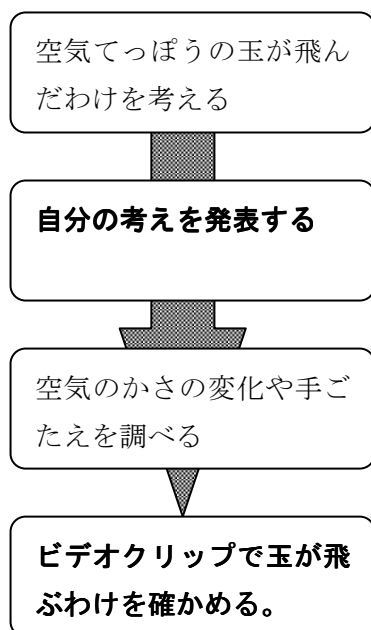


■ ICT 活用場面

- ・ 実物投影機側から児童のノートやワークシートを投影し、児童に説明させる。
- ・ 重要なことは黒板に板書する。(残る)
- ・ ビデオクリップをホワイトボード画面に投影する
- ・ クリップ上にホワイトボードマーカーで説明を加えたり矢印で図示したりする。



■ 授業の流れ



■ 成果と課題

実物投影機とプロジェクタ PC を組み合わせることで、児童が、発表の際に、自分自身のノートを使って書き込みや説明ができ、指導者もビデオクリップのポイントを静止画として写し、書き込みや付け加えができることから、授業を効率よく進めることができた。そのことは児童の意欲の継続や学習効果の高まりにつながった。準備の時間から考えても有意義な指導が可能となったように思われる。

■ ICT 活用環境

使用周辺機器	PC プロジェクタ 実物投影機 電子黒板
使用ソフト	IE 「YAHOO キッズ動画で楽しむ理科社会」等
使用教室	理科室